



平成 23 年 3 月 10 日
岡 山 大 学

「卒後研修歯科医の国際貢献研修を同窓生とともに実施」

概要： 本学歯学部同窓生とともに、岡山大学病院の歯科研修医が国際貢献研修を実施した（2月24～27日）。歯科医療の発展途上にあるベトナム国ホーチミン市において、NGOであるFFSC（ストリートチルドレン友の会）の施設の子どもたち約160人の歯科検診、予防処置、緊急治療、そして子どもたちと施設の関係者に対する教育指導を行った。

本学歯学部同窓生が昨年8月に設立したNPO法人「歯科ネットワーク（岡山から世界へ）」（以下DNOWと呼称）の活動に、卒後研修歯科医師3名と2名の教員が参加し、上記の活動を行った。そして、相手方施設から、同窓生のみならず本学関係者（学部生、研修医、大学院生、そして教員等職員）による定期的で継続的な支援を依頼された。今後は、医療貢献のみならず、双方の教育を充実させることに関しても、双方の意思を確認した。

＜経緯・内容＞

昨年9月8日に、同窓生である中條新次郎先生（二期生、瀬戸内市開業）が代表者であるNPO法人DNOWが、岡山県から認可された。これには、同じく同窓生の村木利彦先生（一期生、総社市開業）と本学大学院医歯薬学総合研究科（歯学系）の高柴正悟教授（一期生）が理事として参画している。今回の活動に至るまでには、中條先生の約10年間に及ぶ他のNPO法人会員としてのベトナムでの歯科医療貢献の経験があり、これに岡山大学歯学部・大学病院歯科系では2007年度と2008年度に学長裁量経費の支援によって歯学部生・卒後研修歯科医師・大学院生を参加させてきた。

今回のベトナム国ホーチミン市での活動は、総勢11名（卒後研修歯科医師3名、教員2名、OB3名、歯科衛生士3名）が参加して、実働2日間にわたって約160の子どもたちとその支援者へ働きかけた。DNOWとして活動する前からの過去3年間の検診データを蓄積したので、今後の解析と健康支援プログラムへの反映が期待される。さらに、同様に過去4年間に参加した歯学部生・卒後研修歯科医師・大学院生が増加しているため、岡山大学からの歯科医療展開の意識が改善してくることが期待される。

＜活動の内容と結果の概略＞

1. ホーチミン市のFFSC関連施設で、約160の子どもたちの歯科検診を行った
 - 1) これまでの活動と異なり、教育と予防処置に重点を置いた
 - 2) 以前の活動の効果があり、緊急性のある処置（抜歯と充填処置）の件数が減少していた
 - 3) 子どもたちと支援者に対して、ムシ歯予防のための生活習慣を指導した
2. DNOWおよび岡山大学歯学部・大学病院歯科系が、FFSCとの今後の連携をどのように行うかを協議した
 - 1) 今回の施設だけで460の子どもたちがいるので、全体検診のあり方を協議した
 - 2) 継続的な協力（医療ボランティア）を要請された
3. これまでの岡山大学歯学部OBと学生等による検診・緊急治療に感謝された

＜補足＞DNOWのホームページ：<http://www.dnow.or.jp/>

＜お問い合わせ＞

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科
歯周病態学分野・教授 高柴 正悟
（電話番号） 086-235-6675
（FAX番号） 086-235-6679